

学年：4年	単元名：考える力をのばそう ー共通部分に目をつけて（図を使って考える）
-------	--

1. 単元目標：（全 1 時間）

○2 量の共通部分に着目し、問題構造を図に表して問題を解決することを通して、問題構造を簡潔にとらえる図のよさに気付くとともに、問題を解決する能力を高める。

考判表・共通部分に着目して、関係を単純化してとらえ、言葉や図、式を用いて説明しようとする。

知・技・問題場面の図がかける。

- ・図を見て説明したり、立式して答えを求めることができる。

2. 指導内容

- ・2つの数量の共通部分を対応・消去し、数量の関係を単純化してとらえる問題

3. 指導のポイント

○図を使って解く問題のポイント

- ・指導者が3回読む。（時間的経過を守る。）
- ・動作化をしながらイメージをつくり、順に情景図か線分図にする。
- ・図を見ながら立式をして答えを出す。
- ・図は、①簡単 ②はやい ③わかりやすい ←図の質を上げていく。

4. 指導にあたって

- ①子どもたちにどんな見方や考え方を獲得させたいか。

- ②それを通してどんな子どもに育てたいか。

5. 学習展開

第1時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○図をかくて問題を解こう。（P114/115）

○線分図を使って問題の解決にあたる。

- ・2本の線分図になることに注意。

○相殺することで単純な問題に帰着させて問題を解決する。

（授業のポイント）

○めあて：絵や図を描いて問題を解こう。

1. 問題把握：3回読む。

- ①どんな様子か思い浮かべよう。（イメージ化）
 - ②どんな絵にするか考えよう。（情景図・線分図・関係図 など）
 - ③文を区切って順番に絵や図を描いていこう。（文を区切って読む）
- 絵や図ができたなら、それを見て問題を解こう。

2. 自力解決

○各自 WB にかいて、黒板に貼る。

※大きくは、情景図と線分図に分ける。その他、状況によっていくつかに分類する。

3. 学びあい

○グループの代表が、説明する。（時間があれば全員に説明させる。）

4. まとめ

○自分の図を修正する。

○友達の発表のよいところを見つけていく。

よい図とは、
○はやい。
○簡単
○わかり易い。

5. 振り返り
OP115②をする。→個別指導

○図のレベル

1. 自分だけがわかる具体的な図（情景図）
2. 自分だけがわかる半具体的な図（○図）
3. 人が見てわかる図
4. 人が見て、一目でわかる図。
5. 説明がし易く簡潔な図

各自の図のレベルを上げていくように個別指導の段階で指導していく。

○2時間かかるかもしれない。

○問題場面設定が、むずかしいので数値を変えないで、情景図がかきやすいように変更して指導した。

- ①小のゼリーと大のゼリーがあります。小のゼリー1個と大のゼリー4個で113円、小のゼリー1個と大のゼリー2個で63円です。小のゼリーと大のゼリーの値段は、それぞれいくらでしょう。
- ②大のプリンと小のプリンがあります。大のプリン3個と小のプリン2個で610円、大のプリン3個と小のプリン1個で530円です。小のプリンと大のプリンの値段は、それぞれいくらでしょう。